

II 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名			
1	公用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	本浦交流センター整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		いちき串木野市			
交付金事業実施場所	いちき串木野市西浜町地内				
交付金事業の概要	新築工事 建築本体工事（鉄筋コンクリート造平屋建350.8m ² ），電気設備工事，給排水衛生設備工事				
総事業費（円）	68,229,000	交付金充当額（円）	55,791,990		
交付金事業の成果及び評価	本市では共生・協働のまちづくりの一環として各地区住民活動の拠点となる交流センターの整備を行ってきているが、本浦地区は未整備で民間施設等の借用を行うなど住民活動に支障を来し、早急な整備が求められていた。今回新たに整備することにより、地区内の総合的な拠点施設として、約1200世帯・2500人の地区住民活動や文化活動の促進が図られ、共生・協働のまちづくりの進展、健康・社会福祉の増進に寄与する結果となった。				
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他契約					
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
建築本体工事	指名競争入札	川崎産業株式会社	53,025,000		
電気設備工事	条件付一般競争入札	有限会社満留電気	5,512,500		
給排水設備工事	条件付一般競争入札	有限会社藤田設備工業所	9,691,500		
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無					
特に予定なし					
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方					
該当なし					
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特に予定なし				

II 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名									
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	旭交流センター改修事業									
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	いちき串木野市										
交付金事業実施場所	いちき串木野市金山地内										
交付金事業の概要	外壁改修工事、防水型複層塗装工事、屋根改修工事 他										
総事業費（円）	9, 093, 000	交付金充当額（円）	8, 000, 000								
交付金事業の成果及び評価	旭交流センターは建設後32年が経過して老朽化が進み、屋上や外壁・内壁の劣化が顕著で雨水が侵入するなど、早急な改修が必要であった。今回の改修により、共生・協働のまちづくりを進める中、年間約5,000人が利用する地区拠点施設として良好な維持管理が確保され、安心で快適に地域住民の利用に供されたことで、地区住民の教養の向上、健康・社会福祉の増進、生活文化の振興に寄与する結果となった。										
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他契約	<table border="1"> <thead> <tr> <th>契約の目的</th><th>契約の方法</th><th>契約の相手方</th><th>契約金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根外壁改修工事</td><td>条件付一般競争入札</td><td>前田建窓ガラス有限会社</td><td>9, 093, 000</td></tr> </tbody> </table>			契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	屋根外壁改修工事	条件付一般競争入札	前田建窓ガラス有限会社	9, 093, 000
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額								
屋根外壁改修工事	条件付一般競争入札	前田建窓ガラス有限会社	9, 093, 000								
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無											
特に予定なし											
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方											
該当なし											
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特に予定なし										

II 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名	
3	地域活性化措置	いちき串木野づくり産業まつり補助事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市西薩町地内		
交付金事業の概要	いちき串木野づくり産業まつり（いちき串木野づくり産業まつり実行委員会（いちき串木野商工会議所）主催）実施に対する補助（平成24年10月27日（土），28日（日）開催）ステージイベント，商工イベント，水産イベント，農産イベント等		
総事業費（円）	7,000,000	交付金充当額（円）	
交付金事業の成果及び評価	ふるさとの自然や文化，歴史を守りながら，食の安心・安全を基本とした地産地消の推進を図るとともに，地場産品の開発，ご当地グルメグランプリの同時開催，またエネルギーと環境に関する展示など，イベントを通して魅力のある街「いちき串木野」を情報発信することをコンセプトに，商工業・農林業・水産業等の関係団体が一体となって各種イベントを開催した。今回の事業実施により2日間で延べ107,000人の来場者があり，地産地消・新たな特産品の開発など，産業振興・地域活性化に寄与する結果となった。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買，貸借，請負その他契約			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
イベント開催経費の補助	補助	いちき串木野商工会議所	7,000,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
地域活性化の持続的な取組として，平成25年度以降も内容を精査しながら交付金の充当により本事業を実施していく。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特に予定なし		

II 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名									
4	公用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	照島小学校校舎改修事業									
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	いちき串木野市										
交付金事業実施場所	いちき串木野市照島地内										
交付金事業の概要	屋根防水改修工事、外壁改修工事、外部塗装改修工事、内壁改修工事										
総事業費（円）	25,000,000	交付金充当額（円）	22,500,000								
交付金事業の成果及び評価	照島小学校の北校舎は建設・増築後40年近くが経過して老朽化が著しく、外壁は亀裂等が生じ危険であることに加え、接合部やサッシ廻りから雨漏りが生じるなど、早急な改修が必要であった。今回の改修により、良好な維持管理が確保され、約300人の児童等の安全の確保と学習環境の改善が図られ、学校教育の振興に寄与する結果となった。										
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他契約	<table border="1"> <thead> <tr> <th>契約の目的</th> <th>契約の方法</th> <th>契約の相手方</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北校舎外壁改修等工事</td> <td>条件付一般競争入札</td> <td>川崎産業株式会社</td> <td>25,000,000</td> </tr> </tbody> </table>			契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	北校舎外壁改修等工事	条件付一般競争入札	川崎産業株式会社	25,000,000
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額								
北校舎外壁改修等工事	条件付一般競争入札	川崎産業株式会社	25,000,000								
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無											
特に予定なし											
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方											
該当なし											
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特に予定なし										

II 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名									
5	給付金加算等措置	原子力発電施設周辺地域加算給付金交付事業									
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	いちき串木野市										
交付金事業実施場所	いちき串木野市羽島地区・荒川地区										
交付金事業の概要	川内原子力発電所から概ね10キロメートルの圏内であるいちき串木野市の羽島・荒川地区の電灯需要家及び電力需要家に対する加算給付金の交付										
総事業費（円）	5, 895, 952	交付金充当額（円）	5, 895, 952								
交付金事業の成果及び評価	<p>原子力発電所から概ね 10 km の範囲内に位置する本市羽島・荒川地区は、約 1,100 世帯、約 2,400 人が生活している。原子力発電所の南東に位置していることから、冬季の北西の季節風が原子力発電所の方向から吹いており、住民は常に不安を抱きながら生活している現状において、原子力発電所の立地市である薩摩川内市街地よりも近い距離にあるにもかかわらず、従来の原子力発電施設等周辺地域給付金に差があり、地区住民の中にも不均衡感が生じていた。</p> <p>今回の事業により、当該地区の電灯需要家延べ 15,504 口、電力需要家 19,404kw 分に対して、立地市と同等となるよう従来の原子力発電周辺地域給付金に加算することで、原子力発電所に対する不安を緩和し、住民の不均衡感を取り除き、原子力発電供用施設の運転の円滑化に資することができた。</p>										
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他契約	<table border="1"> <thead> <tr> <th>契約の目的</th><th>契約の方法</th><th>契約の相手方</th><th>契約金額（円）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加算給付金の交付</td><td>補助</td><td>一般財団法人電源地域振興センター</td><td>5, 895, 952</td></tr> </tbody> </table>			契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）	加算給付金の交付	補助	一般財団法人電源地域振興センター	5, 895, 952
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額（円）								
加算給付金の交付	補助	一般財団法人電源地域振興センター	5, 895, 952								
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無											
特に予定なし											
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方											
原子力発電供用施設の設置の円滑化のため、平成25年度以降も継続的に交付金を充当し、本事業を実施していく。											
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特に予定なし										